



チーム名：喧嘩勇者

作品タイトル「喧嘩するほど仲がいい勇者」



ターゲット

12歳～20歳まで

プレイ人数

2人

ゲームの目的

魔王に敗れてしまい、地下牢獄にて糸の呪いをかけられた勇者二人は再び立ち上がり糸の力を駆使して魔王を倒しに向かう



ゲームクリア・勝利条件

部屋ごとに立ちふさがる魔物を倒し、大広間で待ち構える魔王を倒せばゲームクリア

ゲームオーバー条件

勇者二人のうち片方のHPがゼロになればゲームオーバー



開発進捗

すでに開発は終了しておりブラッシュアップ等の予定はありません

備考・注意点

当初の企画書とは大幅に仕様を変更しています。
また、糸の挙動に関してはUnityアセットの「Obi Rope」を使用しています。
企画書とは違い糸を敵に直接当てて攻撃する仕様となっています。



操作説明

※足りない場合は、ご自身で操作説明のページを追加してください。

Lスティックで倒した方向に移動

○ボタンでシナリオ進行や決定ボタンとなる。

×ボタンを押すとプレイヤーが短い距離を素早く移動する。

△ボタンでアイテムスロットにあるポーションを使用する。



スタッフリスト欄

※足りない場合は、ご自身でページを追加してください。

①職種、②担当箇所を必須でご記入ください。

②の粒度（詳しさ）については下記の記入例をご参考にしてください。

<記入例1>

・ 齊藤修人

①プランナー

②レベルデザイン、仕様書発注書作成、UI配置

・ 山中龍吾

①プランナー

②レベルデザイン、仕様書発注書作成、進行管理

・ 本多立依

①プログラマー

②シナリオシーン実装、キャラクター挙動、糸の当たり判定、マップ移動

・ 富田豪斗

①プログラマー

②UI機能実装

・ 葛西風月

①プログラマー

②エネミーAI、BGM、SE実装



スタッフリスト欄

※足りない場合は、ご自身でページを追加してください。

①職種、②担当箇所を必須でご記入ください。

②の粒度（詳しさ）については下記の記入例をご参考にしてください。

<記入例 1>

・ 鈴木優斗

①3Dデザイナー

②ゴブリン、スケルトン、魔王ロキソスキャラクターモデル。マップデザイン、牢獄蠟燭
タイトルロゴ

・ イヒョンミン

①3Dデザイナー

②勇者1P、2Pキャラクターモデル、セレスティアモデル。大広間机、椅子モデル、
ポーションモデル

・ 守屋佳祐

①3Dデザイナー

②木箱、瓦礫、回転刃トラップ、花瓶

・ 及川拓海

①3Dデザイナー

②牢獄手枷、牢獄椅子、トゲ床トラップ 大広間松明。



スタッフリスト欄

※足りない場合は、ご自身でページを追加してください。

①職種、②担当箇所を必須でご記入ください。

②の粒度（詳しさ）については下記の記入例をご参考にしてください。

<記入例 1>

・長谷川愛

①3Dデザイナー

②勇者キャラクター三面図、ミミックモデル。

・玉代勢来喜

①3Dデザイナー

②ゴブリン武器、スケルトン武器、壁掛け松明、マップ扉、トラばさみ、レンガ

**以降のページに
企画書を追加してください**





喧嘩するほど仲がいい勇者！！

ジャンル：見下ろし型アクション

開発環境：Unity

プラットフォーム：PC（PS4コントローラー使用）

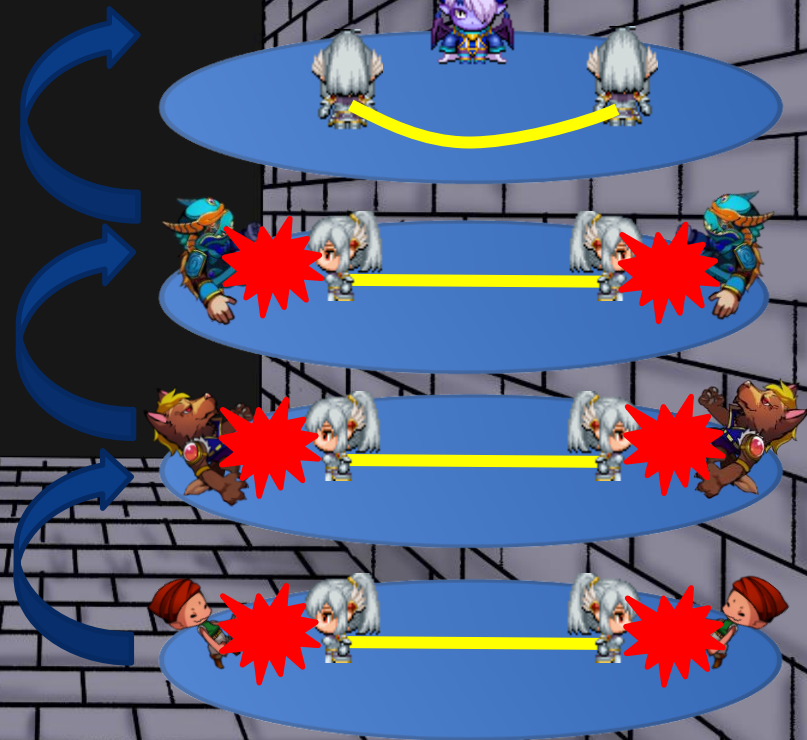
3年 スーパーゲームクリエイター 齊藤修人

コンセプト

引っ張りあうほど強くなる

目的

魔王によって、地下に閉じ込められた勇者二人



ゲームシステム

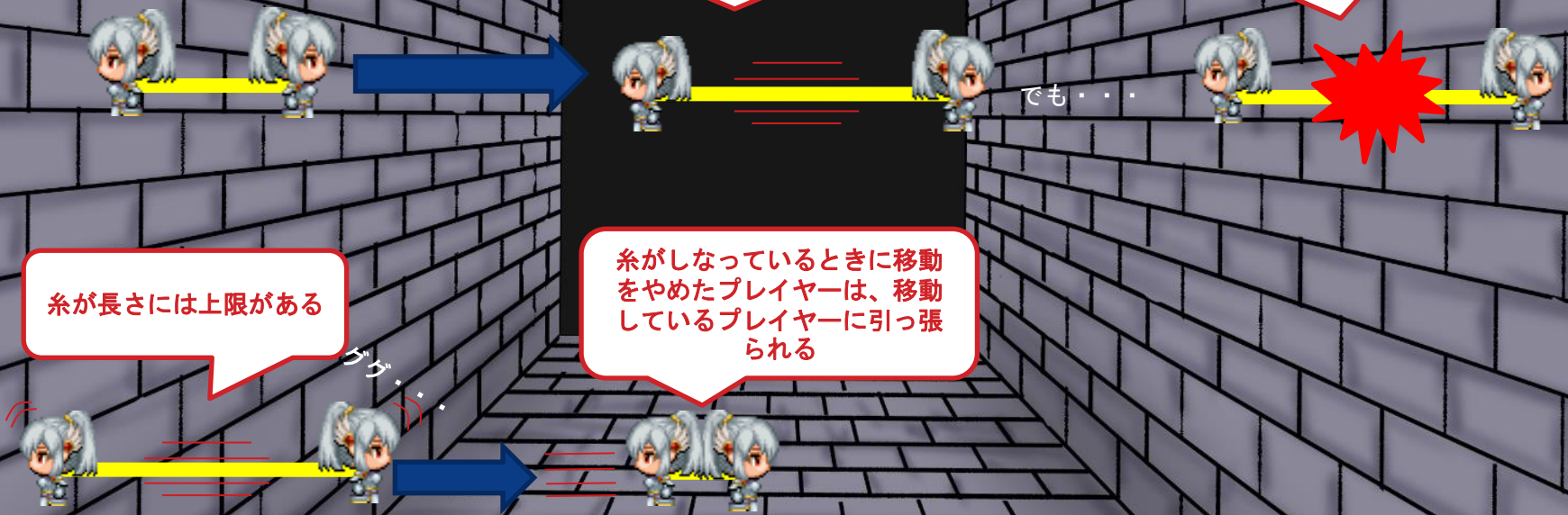
魂の糸が伸びているほど
攻撃力が上がる

魂の糸が伸びるほど食ら
うダメージも増える

でも・・・

糸が長さには上限がある

糸がしなっているときに移動
をやめたプレイヤーは、移動
しているプレイヤーに引っ張
られる



糸の使い方



片方のプレイヤーがオブジェクトを持った状態

慣性を使って

勢いを使って敵に投げつける



糸の使い方その2

ひもがしなっている
時に



二人が同時に
ダッシュ



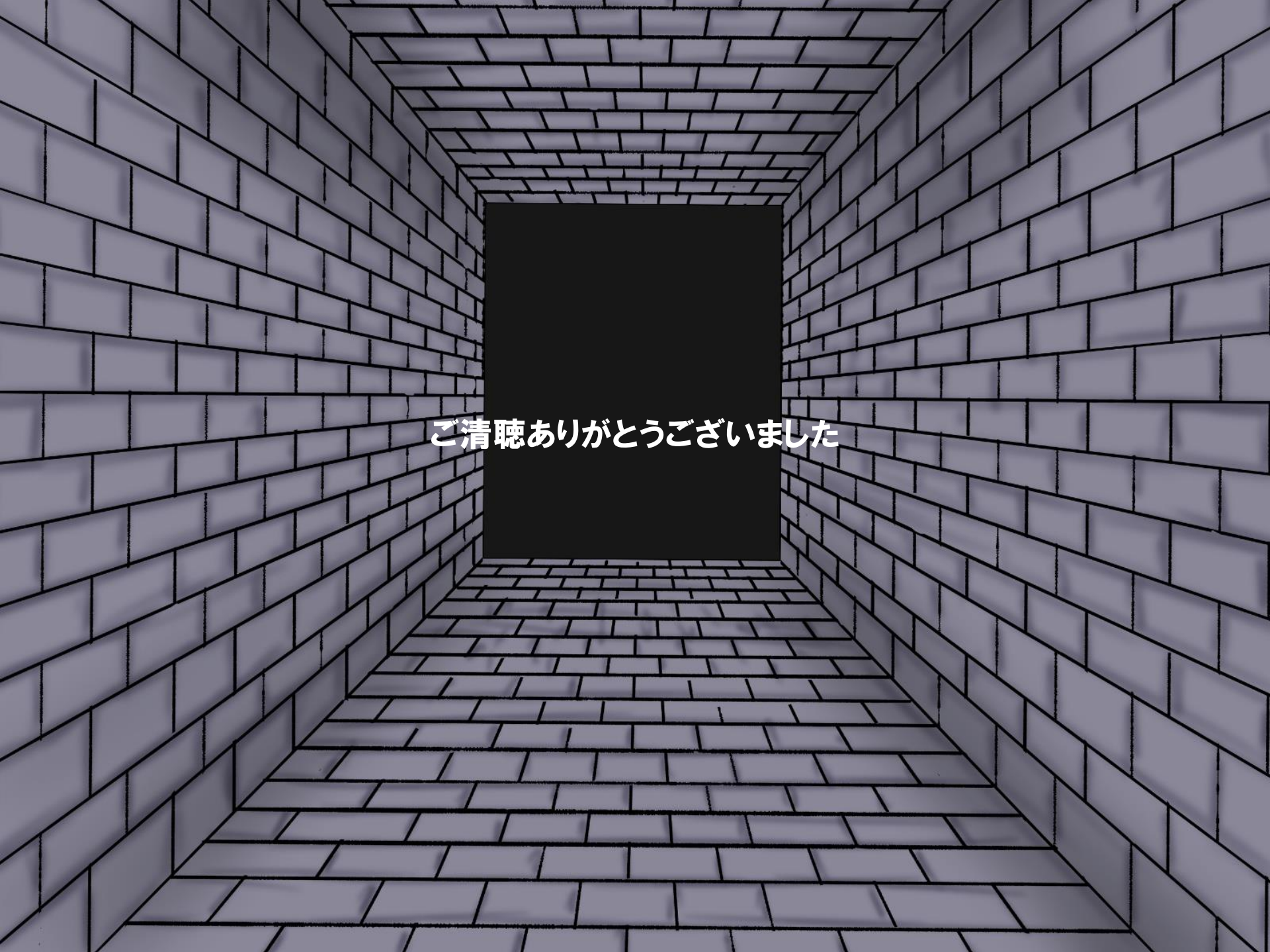
お互いに引き戻されてプ
レスアタック！



まとめ

糸の伸び縮みを駆使して協力せよ！！



A perspective view of a long, narrow tunnel constructed from grey stone bricks. The bricks are laid in a regular pattern on the walls, floor, and ceiling. The tunnel leads to a solid black rectangular opening at the far end, creating a strong sense of depth and focus.

ご清聴ありがとうございました